

# 東北新幹線全線開通

特急 つがる51号 出発式



昨年12月4日、東北新幹線が新青森駅まで全線開通しました。  
 青森県から秋田県に入る際の玄関口に位置付けられる大館市には、アクセス時間も短縮されたことで利便性が向上し、多くの観光客が訪れて活性化につながることが期待されています。

昨年3月に策定した観光基本計画では、観光資源の磨き上げと「おもてなしの心」の醸成を掲げています。その中でも、訪れた観光客をいかにおもてなし出来るか、心に響く接遇が出来るかが最も重要になります。市ではこれまでも、観光協会などの関連団体、飲食店、旅行者者とともに、青森県の関係者と一丸となって、青森デスティネーションキャンペーン(※1)に参加してきました。

全線開通の日、大館駅前に特設会場を設け、乗降客を「おもてなしの心」でお迎え。「忠犬ハチ公」の古里らしく秋田犬も出迎えたほか、みそつけたんぼや比内地鶏スープ、地酒なども振る舞われ、大館の魅力がPRしました。



「おおだて出迎え隊」もお迎えしました

## ※1 青森デスティネーションキャンペーン

デスティネーションキャンペーン(以下「DC」)は、Destination(目的地・行き先)とCampaign(宣伝)を組み合わせて作られた造語です。

青森県と青森県観光連盟が主体となり、JR6社の協力のもと、平成23年4月23日から7月22日まで開催されます。

全国の旅行者の協力を得て、特定地域を一定期間、重点的かつ集中的に宣伝や販売を展開していくもので、国内で実施される観光キャンペーンでは最大規模です。市では「シャワー効果(※2)」に期待し、いち早く参加しています。

## ※2 シャワー効果とは

高層階の百貨店などでの販売戦略の一つ。上階の施設を充実させて上から下へ流れを作り、売り上げ増加を図るもので、浴室のシャワーに例えたものです。新青森駅から南の大館市へ、いかに観光客を誘客するかが焦点となります。